

第1号議案

広島サミット県民会議 令和5年度収支予算の変更について

1 提案理由

令和5年度事業計画に掲げた取組について、全て完了あるいは完了の見通しがついたことを踏まえて予算整理を行うため、収支予算の変更案を提出する。

2 項目別の主な減額内容

(1) 開催支援

地元住民、事業者等に対して発行した識別カードについて、外務省との調整の結果、国と地元の役割分担が明確になり、地元負担によるカード発行経費が不要となったため

(2) おもてなし

カウントダウンボードの製作・設置について、県内7高等学校におけるカウントダウンボードの製作費及び維持管理費、県内14か所・東京都内1か所に設置したデジタルサイネージの維持管理費が見込みを下回ったため

(3) 平和の発信

被爆の実相等の取材を支援し、平和のメッセージを世界へ発信することを目的とした海外メディアの招へいについて、4カ国4社5人の広島招へいが実現した。全社在京の拠点を有していたことから、招へい関連経費が見込みを下回ったため

(4) 広島の魅力の発信

国内外のメディア等を通じた魅力発信について、有料広告の活用も含めて予算化していたところ、執行段階で、サミット期間中に確実に使用される国際メディアセンター内に設置した広島情報センター（来場者数延べ50,327名（うち外国人4,967名））の機能及び展示コンテンツを充実させ、パブリシティを効果的に活用する方針に転換したことにより、広告宣伝費を節減したため

(5) ポストサミット・若者の参画

県内23校で約5,000人が参加したサミット塾について、外務省との調整の結果、県民会議と外務省との共催となり、全ての回で外務省職員が講師を務めたことにより、講師謝金が不要となったため

(6) 事務局運営費・予備費

広島商工会議所内に設置している事務局について、サミット終了後に体制を縮小させるとともに、事務費の節減に努めたため

また、予備費について、充用すべき案件が生じなかったため

広島サミット県民会議 令和5年度収支予算（変更後）

1 収入の部

（単位：千円）

科 目	現計予算額	今回補正額	補正後予算額	摘 要
負担金	254,800	△146,000	108,800	県・市負担金
諸収入	324,413	－	324,413	前年度繰越金
	1	－	1	預金利息
合 計	579,214	△146,000	433,214	

2 支出の部

（単位：千円）

科 目	現計予算額	今回補正額	補正後予算額	摘 要
事業費	487,593	△109,800	377,793	開催支援、事業推進経費
事務局費	91,621	△36,200	55,421	事務局運営経費
合 計	579,214	△146,000	433,214	

広島サミット県民会議 令和5年度収支予算内訳（変更後）

収入の部

(単位：千円)

科目	項目	現計予算額	今回補正額	補正後予算額
負担金	県負担金	127,400	△ 73,000	54,400
	市負担金	127,400	△ 73,000	54,400
諸収入	前年度繰越金	324,413	—	324,413
	預金利息	1	—	1
合計		579,214	△ 146,000	433,214

支出の部

(単位：千円)

科目	項目	現計予算額	今回補正額	補正後予算額
事業費	開催支援	108,617	△ 43,300	65,317
	おもてなし	69,434	△ 2,100	67,334
	平和の発信	33,174	△ 9,500	23,674
	広島の魅力の発信	182,466	△ 41,100	141,366
	若者の参画	93,902	△ 13,800	80,102
事務局費	事務局運営費・予備費	91,621	△ 36,200	55,421
合計		579,214	△ 146,000	433,214

※ G7広島サミット記念コーナー（仮称）の供用開始に向けて、51,800千円を上限として翌年度に繰り越す（令和5年11月24日付け専決処分）。

※ 収支予算の変更による減額分については、負担金を支出している広島県と広島市に返還する。

広島サミット県民会議 令和4・5年度連結予算について

(単位：千円)

区分		令和4年度		令和5年度			令和4・5年度 ^{※2}	
		予算額 (A)	決算額 (B)	現計予算額 (C)	今回変更額 (D)	最終予算額 (E=C+D)	変更前予算額 (A+C)	変更後予算額 (A+E)
収入	負担金	506,200	506,200	254,800	△ 146,000	108,800	761,000	615,000
	県負担金	253,100	253,100	127,400	△ 73,000	54,400	380,500	307,500
	市負担金	253,100	253,100	127,400	△ 73,000	54,400	380,500	307,500
	諸収入	0	40	324,414	0	324,414	1	1
	預金利息等	0	40	1	0	1	1	1
	前年度繰越金	0	0	324,413	0	324,413	—	—
	計	506,200	506,240	579,214	△ 146,000	433,214	761,001	615,001
支出	事業費	433,800	135,907	487,593	△ 109,800	377,793	623,500	513,700
	開催支援	70,200	6,583	108,617	△ 43,300	65,317	115,200	71,900
	おもてなし	116,900	51,366	69,434	△ 2,100	67,334	120,800	118,700
	平和の発信	34,300	11,326	33,174	△ 9,500	23,674	44,500	35,000
	広島の魅力の発信	182,400	62,234	182,466	△ 41,100	141,366	244,700	203,600
	ポストサミット・若者の参画	30,000	4,398	93,902	△ 13,800	80,102	98,300	84,500
	事務局費	72,400	45,921	91,621	△ 36,200	55,421	137,501	101,301
	事務局運営費・予備費	72,400	45,921	91,621	△ 36,200	55,421	137,501	101,301
	計	506,200	181,828	579,214	△ 146,000	433,214	761,001	615,001
収支決算差引額			324,412 ^{※1}					

※1 端数処理により、数値は一致しない。

※2 二重計上となる前年度繰越金を除く。

※2 令和5年度収支予算のうち、51,800千円を上限として令和6年度に繰り越す（令和5年11月24日付け専決処分）

令和6(2024)年1月9日
広島サミット県民会議事務局

広島サミット県民会議における令和5年7月に開催した
第5回総会以降の取組について

1 第5回総会以降の主な取組

(1) 経済波及効果・パブリシティの効果の算定

広島サミットの効果・影響を定量的に把握するため、経済波及効果及びパブリシティ効果を算定した。

ア 直接的な経済波及効果

【推計方法】

- ① 国、広島県、広島市、一部市町におけるサミット関連予算や民間投資、サミット直後の観光客増などのプラス要素を産業連関表に投入して推計
- ② サミット期間中及びその前後での規制等によるマイナス要素を産業連関表に投入して推計
- ③ ①-②により経済波及効果を算出

【推計対象期間】

令和4年6月～令和5年7月

区分	直接的な経済波及効果額	(参考) 伊勢志摩サミット
県内	約 725 億円	約 483 億円
広島市	約 573 億円	—
その他の地域	約 152 億円	—
県外	約 492 億円	約 587 億円
合計	約 1,217 億円	約 1,070 億円

イ メディア露出件数及びその広告換算額

【推計方法】

国内及び海外における「広島」かつ「サミット」のキーワードを含む記事や報道を新聞、雑誌、テレビ、ウェブ別に露出した件数を調査した。その上で、仮にその記事や報道を広告として掲載した場合に要する費用を個々のメディアの広告掲載単価から推計

【抽出エリア】

国内：首都圏、関西圏、中国圏

海外：日本を除くG7各国及びオーストラリア、中国、香港、台湾、韓国、タイ、シンガポール

【推計対象期間】

令和4年5月～令和5年5月

区分	メディア露出件数 (広告換算額)	(参考) 伊勢志摩サミット
国内	170,429 件 (約 2,039 億円)	99,588 件 (約 1,874 億円)
海外	245,073 件 (約 6,793 億円)	48,650 件 (約 1,224 億円)
合計	415,502 件 (約 8,832 億円)	148,238 件 (約 3,098 億円)

ウ ポストサミットの経済波及効果

【推計方法】

サミット開催直後（令和5年6月）の総観光客数の伸び率（対コロナ禍前の令和元年6月）をサミット開催による誘客効果と仮定し、次の日本でのサミット開催地決定の前年までその効果が逡減しながら続くと仮定して推計

【推計対象期間】

令和5年～令和9年

区 分	ポストサミットの 経済波及効果額
総観光客数の増加	約 1,649 億円
合 計	約 1,649 億円

(参考) 伊勢志摩サミット	
県外観光客数の増加	約 1,485 億円
国際会議の開催件数の増加※	約 4 億円
合 計	約 1,489 億円

※広島サミットにおいては、「総観光客数の増加」の中に国際会議への参加者も含んでいる。

(2) 記録誌の制作

G7広島サミットの記録・記憶を後世に引き継ぐため、記録誌を制作した。

【概 要】

構成：第1編 サミット概要
第2編 サミット開催に向けて
第3編 県民会議等の取組
第4編 予算・決算
資料編

頁数：438 ページ

部数：本冊 1,800 部 概要版 3,500 部

Web版：県民会議ホームページに掲載



記録誌表紙



岸田総理大臣へ手交

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshima-summit/memorial.html>

(3) 広島サミット開催後の活動のフォローアップ及び情報発信

広島サミット開催を契機に実施する県、県内23市町等の取組をフォローアップするとともに、その情報をホームページ上で集約・発信した。

【概 要】

発信内容：イベント・展示・キャンペーンや各種募集等、市町等の事業を集約・発信

掲載数：64件

掲載例：
・サミットの贈呈品をテーマとするモニターツアー（北広島町）
・サミット関連講座の開催（広島市）
・G7広島サミット関連品をふるさと納税の返礼品として選定（竹原市、北広島町、三原市、広島市）



ホームページ

(4) G7広島サミット記念コーナー（仮称）の設置

各国首脳等が広島に一堂に会した歴史的なサミットを県民や市民の皆様の「誇り」とし、未来につなげていくため、サミットの開催を想起する代表的な品々等を展示した、メモリアルとなるコーナーを設置する。

令和5年12月に、建屋の設置及び展示・設営に係る契約を締結し、広島サミット開催から1年後に当たる令和6年5月19日の一般公開開始に向けて、着実に準備を進めていく。

【概要】

設置場所：平和記念公園内（広島平和記念資料館出口の北側付近）

面積：約110㎡

開設期間：G7サミットの次期日本開催年である令和12年12月末まで（6年8か月間）

2 その他の取組

(1) 広島サミット回想展の開催

サミットにおいて各国首脳等が記帳した芳名録やサミットのレガシーである首脳会議等で使用された円卓等の一般公開を行うことにより、G7首脳の平和への思いや広島でサミットが開催されたことを感じ取っていただくため、広島市及び廿日市市と県民会議の共催で「G7広島サミット回想展」を開催した。

【開催概要】

区分	広島市での開催	廿日市市での開催
期間	令和5年7月25日～8月31日	令和5年9月22日～11月5日
タイトル	G7広島サミット回想展 ～核兵器のない世界に向けた首脳らの軌跡～	G7広島サミット回想展 in はつかいち ～「千年先も、いつくしむ。宮島」レガシーの継承～
会場	広島国際会議場 サクラ (地下2階)	はつかいち・みやじま情報センター (宮島口旅客ターミナル2階) TOTO宮島おもてなしトイレ etto宮島交流館
来場者数	15,035人 (1日当たり平均395人)	33,998人 (1日当たり平均755人)

【来場者からの主なコメント】

(芳名録)

- ・直筆メッセージから各国首脳らの平和への思いが伝わり、感銘を受けた。
- ・各国首脳らの平和へのメッセージに心を打たれた。そのメッセージどおり平和な世界であってほしいと思った。

(フォトスポット)

- ・ただ見るだけでなく、実際に首脳が座った椅子に座って写真を撮れ、いい記念になった。

(円卓)

- ・ニュースで見ていた円卓の実物が見ることができて感動した。
- ・円卓を実際に見ることができ、近い距離で話し合いが行われたことが感じられた。

(全般的な感想)

- ・サミットが成功してよかったという気持ちがよみがえってきた。
- ・広島サミットの雰囲気を身近に感じることができよかった。
- ・スタッフの方の親切な対応で、より楽しめた。



フォトスポット（広島市）



展示見学の様子（廿日市市）

(2) パートナーズ・プログラム記念植樹式の実施

令和5年5月19日のG7広島サミットのパートナーズ・プログラムにおいて、G7首脳のパートナーから賛同・署名を得た、同プログラムを記念した植樹を実施した。

【概要】

実施日：令和5年10月12日（木）

会場：旧広島市民球場跡地イベント広場 ピースプロムナード沿い

来賓：内閣総理大臣夫人 岸田 裕子 氏



松井副会長による植樹に関する説明
(5月19日 おりづるタワーにて)



植樹式

(3) G7首脳による植樹（ソメイヨシノ）への説明板設置

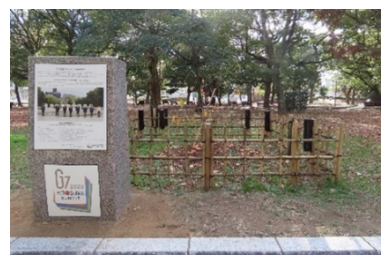
G7広島サミットにおいて、岸田内閣総理大臣をはじめG7の首脳が平和記念公園を訪問された際に、平和への願いを込めて植樹された樹木（ソメイヨシノ）の付近に、植樹時の様子などを記載した説明板を設置した。

【概要】

設置日：令和5年12月21日（木）

設置場所：平和記念公園内

サイズ：高さ140cm 幅71cm
奥行（最大幅）44.5cm



説明板